

# 「災害に強いまちづくり」意見交換会

平成29年12月27日(水) 14:00~17:00

○南海トラフ地震対策中部圏戦略会議「中部圏地震防災基本戦略」の優先的に取り組む9課題の一つである「災害に強い地域づくり」の取り組みとして開催。中部地域の地震・津波災害に強いまちづくりを支援するため、地域の現状・ニーズを把握し、有識者から助言を頂くことを目的としている。平成25年度から開催。

○伊豆市・蒲郡市・志摩市の首長3名に加え、静岡県・愛知県・三重県防災関連部局代表による、災害に強いまちづくりに関する取組の説明及び意見交換を実施。

## 出席者一覧 (敬称略)

<市町村>	
伊豆市長	菊池 豊
蒲郡市長	稲葉 正吉
志摩市長	竹内 千尋
<静岡県>	
危機管理監	外岡 達朗
交通基盤部長	鈴木 克英
<愛知県>	
防災局長	相津 晴洋
建設部 技監	風岡 嘉光
<三重県>	
防災対策部長	福井 敏人
県土整備部長	水谷 優兆
県土整備部 次長 (都市政策担当)	里 宏幸
<学識経験者>	
名古屋大学 減災連携研究センター長 教授	福和 伸夫
名古屋大学大学院 工学研究科 教授	水谷 法美
<中部地方整備局>	
中部地方整備局長	塚原 浩一
中部地方整備局 企画部長	岩田 美幸
中部地方整備局 河川部長	児玉 好史
中部地方整備局 道路部長	河南 正幸
中部地方整備局 建政部長	西口 学

## 主な意見等

### <首長>

- ・考えられる最悪の事態を想定し、防災関連施策を何に使うか首長が責任を持って考え、学識経験者の手を借りつつ、全ての施策を総合的に実施することが重要である。
- ・過去の災害の怖さを教訓として後世に伝える体制づくりを行い、「自分の身は自分で守る、自分で避難することを考える」という考えを持ってもらう教育が必要である。
- ・東日本大震災の被災地に市長と一緒に幹部や消防団長・自治会長と視察することで、現場を見て学ぶ取り組みを行っている。

### <県>

- ・職員が現場での経験を積むことが重要であるため、被災地への市町職員の派遣コーディネートといった橋渡しの取組も行っている。また、中部圏戦略会議は官民が連携し、課題の共有や相互支援体制の検討を行う重要な場となっている。
- ・防災関連情報が精緻・正確になる中、市町村やマスコミ、県民といった情報を受け取る側の理解力(情報リテラシー)が重要となるため、県でも何らか関わっていく必要がある。
- ・海水浴客らを巻き込んだ避難訓練等の取組が他県自治体でも見られる。県を超えた市町連携の後押しを考えていきたい。

### <学識者>

- ・防災に関する情報・技術や効果的な取組を他の県や市町村に展開し、学識者や企業を交えながら共有・議論できると有効であり、今回のような場は重要である。
- ・前向きな職員の出向等により、情報や技術を展開し、市町村や県の枠を超え、各県や市町村の良さを互いに生かし合うような仕組みがあると、お互いにとってプラスになる。

## 意見交換の様子



名古屋大学 福和教授



蒲郡市長



志摩市長

伊豆市長